

積み木の世界 R4.6.9



絵本の挿絵を見ながら作り始めた G くん。
「これは手」「ここは顔だよ」と言いながら
怪獣を作っていました。
挿絵を元に頭の中にイメージが広がって
いく、世界にどっぷり浸かっています。



2人はなにを作っているのかな？
一緒に作っていたものが崩れてしまった
瞬間の表情。イメージが共有できているから
こそ、何があっても楽しい、もっとやっ
てみよう！という気持ちが生まれます。

絵本「つみきで とんとん」を見てから、積み木の世界
に興味津々な子ども達。
クラスで積み木の輪が広がっていきました。

最初は1人、2人から始めて…
「もっと作りたい」「積み木でトンネル作ってみよう！」
と広がる、広がる・・・！



絵本を通してイメージを共有し、積み
木の世界を広げていた子ども達。
自然と役割ができ、友だち同士で「こ
こ手伝って」「こっちは任せて！」と話
していました。
子ども達の世界を見守ると、新たな関
係性が生まれ輪が広がっていくのが分
かります。
これからも子ども達の世界を成長と共
に見守っていききたいですね。